

# Dai-Con Press

東京農業大学第二高等学校 同窓会新聞 [ダイコンプレス]

Vol.  
32  
2024



速報

## 国公立大学に86名が合格

- 卒業生497人が新たに同窓生に加わり、延べ同窓生38,023人になりました。
- 定期総会が開催されました【特集P2-3】

2024年9月14日[土] 同窓会創立60周年記念式典

2024年10月27日[日] 令和6年度チャリティゴルフ大会



## 特集

# 令和5年度 同窓会総会・懇親会では 大変お世話になりました

令和5年9月30日(土)にエテルナ高崎で令和5年度総会・懇親会を開催しました。

清水会長は「37,000人の同窓会の繋がりは強い。中等部が開校してますます栄えて行くだろう。諸先輩・若い人の意見を吸い上げながら開かれた同窓会を目指したい」と挨拶しました。

また、総会には20期生で東京農業大学の江口文陽氏が出席。7月に理事長に就

任(学長兼務)したことを祝い記念品を贈呈しました。江口理事長は「社会で活躍する皆さんの意見をしっかりと聞き、活性化を図り、学びやすい環境をつくりていきたい」と挨拶を述べました。

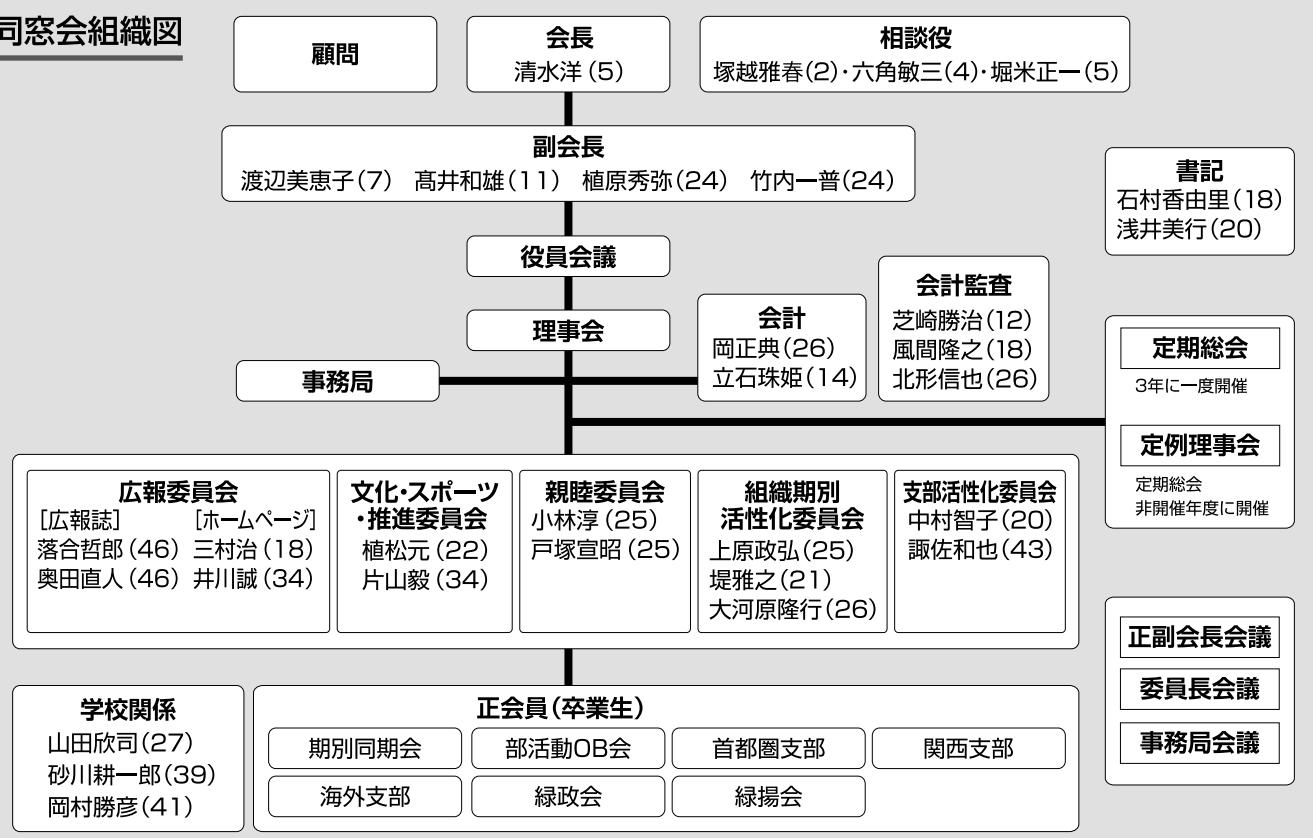
総会終了後には懇親会が盛況に行われました。

※来賓者は江口文陽理事長、加藤秀隆校長、井野俊郎衆議院議員、清水真人参議院議員。



東京農業大学の江口文陽理事長に記念品を贈呈

## 同窓会組織図





加藤校長あいさつ



江口理事長あいさつ



相談役・監査役



## 同窓会創立60周年 祝賀会を開催します。

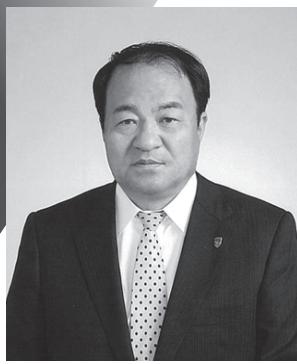
開催日は令和6年9月14日(土)

令和5年度卒業式(3月1日)で497名が卒業し、同窓生総数は38,023名となりました。長い歴史を感じます。開校当時は校庭もなく、先輩方は大変苦労されたと聞いています。昨今のような母校の飛躍を誰が予想できたでしょう。

令和6年度には同窓会創立60周年を迎えます。同窓会では、令和6年9月14日(土)に祝賀会を開催します。多くの皆さまのご出席をお願い致します。

※詳しくは同窓会ホームページをご覧ください。お申し込み方法については6月頃からホームページでご案内します。

## 同窓会長の挨拶



東京農業大学第二高等学校 同窓会長

**清水 洋** (5期生)

同窓会員の皆様には、日頃より様々な場面でご支援・ご協力を賜り、同窓会活動を支えていただいていることに感謝申し上げます。

同窓会の目的は会則によりますと「会員相互の親睦を図ること」「母校発展に寄与すること」とされています。長いコロナ禍にあって、様々な活動が制限されましたが、会則の目的2点が達成出来るよう、工夫と努力によって対応をしてきました。

令和5年度は、9月30日(土)にエテルナ高崎に於いて、久々に総会・懇親会を開催することができました。当日は、大学より江口文陽理事長・学長(20期)にも出席していただきこれらの抱負等を述べていただきました。農二同窓生が東京農業大学理事長に就任するとは大変な快挙です。法人運営がしっかりと出来るよう応援したいと思います。また、支部活動も段々と動きだしました。今まで会員の皆様にご迷惑をかけた分、頑張りたいと思います。

母校発展に対しての寄与につきましては、育英奨学金・クラブ活動補助・全国大会出場補助(運動部・文化部)等を毎年行っています。特に育英奨学金は、育英基金ゴルフ大会での募金や同窓会費から捻出。経済的理由により修学が困難になった家庭に対し、返済義務のない育英奨学金を給付しています。ここ数年、ゴルフ大会の時に大金を寄付をしていただく会員の方々も増え、心から感謝する次第です。

しかし、同窓会には課題もあります。30期以降の期別親睦会(立ち上げ)の開催が少なく、同窓会の期別活性委員会が、様々な支援をしながら期別の親睦・交流が図れるよう動き始めています。立ち上げの時には同窓会本部が相談に乘りますので、是非ご相談ください。

最後になりますが、母校の益々の発展と同窓生の皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます

## 校長の挨拶



東京農業大学第二高等学校長

**加藤 秀隆**

同窓会の皆様におかれましては、日頃より母校である農大二高の教育活動に格別なご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

さて、高校は今年、創立63年目を迎え、在籍者数は中等部二期生と合わせて約1,850名を超えております。少子化が急速に加速する中でこのように多くの生徒たちが農大二高および中等部を選んでくれたことは、農大二高の諸先輩方が今日まで築いてきた伝統や校風、さらには近年の教育内容を評価していただいているものと心より感謝しております。

昨年もクラブ活動での生徒の活躍が目立ちました。陸上競技部では全国陸上競技大会で橋本悠君が110Hで優勝、柳田聖大君が走り幅跳びで準優勝、全国高校駅伝競走大会において12位、剣道部は男子団体で11年ぶりの全国大会出場、競技かるた部、放送部なども全国大会へ進出しました。吹奏楽部は全国マーチングコンテストなど各種大会で金賞を受賞、さらに、台湾の国慶節にあたる双十節に148名の部員が招待され、その演奏・演技は台湾の国家的な式典に花を添えました。

さて、本校では教育環境の更なる充実を目指し、「教育振興資金」の募集を開始しました。同窓生の皆様方には、趣旨をご理解の上、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。学校現場ではICT教育、グローバル教育などに加え、非認知能力の養成が大きなテーマとなっています。農大二高および中等部は、生徒の「生きる力」を養成し、社会を力強くけん引できる人材を育成するため、体験的な学習を多く取り入れるなど教育内容の深化に努めて参ります。今後もご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東京農業大学 理事長・学長

**江口 文陽**(20期生)

## 東農大の理事長と学長を併任されます

2023年7月16日に開催された理事会において、理事長職を拝命することとなりました。学校法人東京農業大学理事長と東京農業大学学長を併任する重責となります。

創立133年を迎えた学校法人東京農業大学が社会から信頼され、それぞれの部門の就学者から選ばれ続ける組織であるため、実学主義のもと有能な人材育成を目指して取り組んで参りたいと考えます。

また、学園化構想における東京農業大学併設校の教育力やブランド力の向上、それぞれの部門や地域における特色は活かしつつ、部門間交流と連携の強化を図り、「学生・生徒・児童が輝く」教育(研究)環境の整備を推進します。

理事長として「学校法人東京農業大学らしさ」を広め、学校法人東京農業大学のさらなる発展のため、全力を尽くす所存でございます。

皆様には、重ねてご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

同窓会費は、同封の振込用紙または銀行振込で納入して下さい。

### 高等部の近況や取り組みなどの紹介

#### 4年ぶりの海外研修旅行

今年は4年ぶりにアメリカ、シンガポール・マレーシア、沖縄を研修先とした旅行となりました。ここでは、最も多くの生徒が研修先として選んだシンガポール・マレーシア研修を紹介します。500人を超える大所帯のため、先発隊と、後発隊、さらには成田組、羽田組にわかれました。到着後は、マーライオンが出迎える海沿いを夜景鑑賞。移動の疲れも忘れる煌びやかな夜景に包まれ、ホテルへと向かい初日が終わりました。



2日目はグループに分かれ、現地の学生やファミリーとの交流です。ファミリーの自宅に招待され、ランチをご馳走になったグループもあったようです。有名なマリーナベイサウンズ、巨大な植物園のガーデンバイザベイ、地下鉄を乗り継いでインドタウンやチャイナタウン、一日がかりの訪問です。夕食をとるレストランへ集合した際には、学生やファミリーとの別れに目を潤ませる生徒もいました。一日でしたが、深い交流ができていた様子でした。

3日目はいよいよ国境を越え、マレーシアへの学校訪問です。学校へ到着すると素敵な笑顔とリズミカルな演奏で出迎えていただきました。お互いの学校を紹介し、文化交流のスタートです。リスニングだけで習得した現地の代表生徒の日本語での挨拶には驚かされました。また伝統的なダンスを披露してもらいました。農大二高も負けていません。こちらも伝統的なダンス『大根踊り』を全力で披露し、現地の生徒たちにも教えて、マレーシアの地に青山ほとりが轟きました。

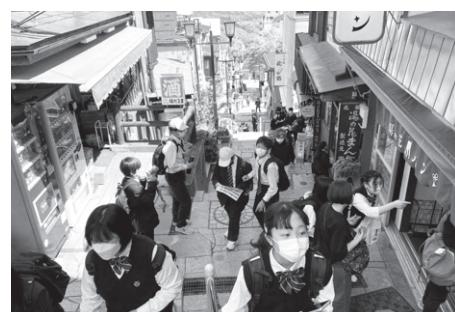
国籍は違えど同世代、あつという間に仲良くなり、肩を組んで交流を

楽しんでいる様子でした。学校交流を終え、はじめてのスコールを体験するなか、ジョホール・イスカンダルツアーアとして、マレーシアの歴史や国王について現地のガイドさんから説明を受けました。充実したマレーシアでの研修を終え、シンガポールズーのナイトサファリへと向かいます。暗闇には、ゾウ、ライオン、ハイエナそしてバク。なんと柵がありません。バクまで50cm。生徒たちも興奮している様子でした。

最終日は、研修?学び?仲間たちとの大切な思い出づくりです。USS(ユニバーサルスタジオシンガポール)でアトラクションに絶叫し、家族へのお土産を爆買です。生徒たちの「オススメですよ」にまんまと引っかかり、教員も全身ずぶ濡れです。

そんなハードスケジュールの4日間を終え、日本へ帰国。帰国後真っ先に向かったのは、高崎駅の駅ビルにあるレストランだったみたいですが…。つらくなったときは、この研修旅行を思い出して欲しい、ずぶ濡れになった先生たちを思い出して欲しいと思います。私たちは忘れません。「先生、オススメですよ。」

### 中等部の近況や取り組みなどの紹介



中等部が開校し、一期生が入学してから早くも一年が経ちました。中等部では「『開拓と創造』の精神の育成」という教育目標の下、体験的な学びを実践しています。

TBC(チームビルディングキャンプ)では伊香保石段でのフォトロゲイニングや榛名湖でのカッタービーク等を通してクラスの一体感を高めました。発酵学習では農大の野口教授の講義を受けた上で、高崎問屋町の糀屋の指導のもと味噌作りを行いました。さらに、農大の江口学長からきのこについて学び、妙義ナバファームで農園見学と椎茸の収穫を行いました。DAL(ドラマアクティブラーニング)では、限られ

た期間で、各クラスが英語劇を完成させ、観客の前で堂々と演技しました。ICTの授業では、遠隔で台湾の講師にプログラミングスキルの指導を受けています。生徒たちは、知的好奇心を持って、日々の学習に主体的に取り組んでいます。

中高6年間の一貫教育を通じて、様々な体験をしたり他者と協働したりする中で、自己の枠組みを広げ、未来を切り拓いていく人材に成長することを期待しています。

\*糀屋・妙義ナバファームによる体験学習は本校OBにご協力いただき実現しました。

# 農二トピックス

## 伊藤琉偉さん(57期)が東京ヤクルトスワローズに入団

伊藤選手は農大二高57期生として3年間、硬式野球部に所属し活躍しました。高崎市の谷中中学校出身で、在籍の3年間は甲子園出場はできませんでしたが、1年次よりレギュラーを勝ち取り内野手の要としてチームに貢献。攻・走・守・全てにおいて高い能力を持っています。プロでの課題は打撃となります。持ち前の身体能力を活かして頑張ってください。

農大二高硬式野球部前監督 坂上泰生

## 周東佑京(50期)選手後援会入会とご寄付のお願い

プロ野球ソフトバンクホークスの選手である周東佑京選手(50期)の応援サポートを目的に後援会を発足しました。

ご承知のように周東選手は、盗塁王に輝き13試合連続記録を樹立し、今後の活躍が期待されています。純粋に周東選手を応援し、会員相互の親睦を深め、上州の野球界を盛り上げていけるような会にしたいと考えています。

つきましては、本会の主旨・目的をご理解いただき、入会やご寄付を頂戴できれば幸いです。

- ◆入会金：2,000円
- ◆寄付金：1口1万円～(入会金含む)

後援会 会長 清水 洋



お申込み 事務局長:上原政弘(光保険サービス株式会社)  
問合せ TEL:027-364-3338 FAX:027-364-9864

## 二高祭に同窓会ブースを出展

【日時】令和5年7月7日(金)～7月8日(土)10:00～15:00

【場所】農大二高01会議室(北半分)

【来場者数】7月7日…50名 7月8日…213名、合計263名  
同窓会として、二高祭にブース出展しました。活躍している同窓生を紹介したり、広報誌や記念誌を見られるコーナーをつくりました。2日間で263名の方にお越し頂き、在校生からは「先輩にたくさんのごい人がいることを知り、自分もそなりたいと思います」とのコメントを頂きました。



文化祭の様子をホームページで知った高井さんより、メッセージを頂きました!

## JICA(国際協力機構)で活躍した思い出

高井 正夫さん(5期)

私の講演や原稿チェックのためにネットを検索していたら、「農大二高同窓会」が出てきて、文化祭で“活躍する同窓生”的一人として私が紹介されていて驚きました。

私は農大二高在学中からベトナム反戦運動に参加し、学業よりも学生運動で[有名]でした。文芸部にも所属して拙い小説なども学校の文芸誌に書いた記憶があります。当時の校長先生は常谷先生で、何度も激しくやり合った記憶があります。今考えると農大二高だったから、常谷先生だから、甘えられたと感謝しています。

その後、日大の法学部に進学しましたが、激しい学生運動の渦中であまり勉強した記憶がありません。ただ、法律学や経済学は好きで、1年留学し2年間受験勉強して、国家公務員試験に合格しました。

1974年に農水省事務官で入省。国際部の国際担当として入省したその年から、韓国、フィリピン、ラテンアメリカへ出張しました。

30歳の頃に、上司からラテンアメリカで苦労している日系人移民が150万人もいると教えられ、本格的に移住者支援と海外援助を担当することになり、外交特権が必要なことから、外務省へと身分を移し大使館勤務になりました。

更に、JICA(国際協力機構)に移動となり、パラグアイ、アルゼンチン、エクアドル、チリなどで日系移住者と相手国の人々のため100以上のプロジェクトを運営しました。JICAでは、横浜センター所長の時に、「海外移住資料館」を作ったのが良い思い出です。実は、若かりし頃、東京農大の教授になっていた常谷先生と農大で再会し、「移住者の中に農大出の方々が多くいる。青年海外協力隊に参加する卒業生も多いので気にかけて欲しい」と言われたことがあります。これはその後、長らく私の心の中の使命となりました。高校時代のご恩を多少返せたように思います。



# 第28回育英基金 チャリティーゴルフ大会

日時／令和5年11月3日 文化の日

場所／サンコーカントリークラブ

育英奨学基金へのチャリティーと同窓生の懇親を目的に毎年開催されているゴルフ大会です。今回は4年ぶりに秋晴れのなか、参加者82名により開催することが出来ました。

今回は群馬県高校OB対抗ゴルフ大会で見事男子団体優勝を果たしたメンバーを代表して26期卒の貫井紀之さんに参加いただき、優勝の報告をしていただきました。何よりも参加いただいた同窓生皆様に笑顔で楽しく一日過ごしていただけたことに開催側として感謝いたします。

チャリティーにより集まった温かく大きな净財は、同窓会育英奨学基金から在校生の学業継続支援に活用されています。また、毎年開催されるこのゴルフ大会は、同窓生の貴重な交流の場となっており、初心者の方でもお一人でも気軽に参加することができます。

次回は10月27日に開催予定です。多くのご参加をお待ちしています!

【成績】[男子優勝] 笠原宏介さん(31期生)

[女子優勝] 塚田節子さん(5期生)

[期別優勝] 23期のみなさん

[期別最多出場] 14期のみなさん

順位結果の一覧等はコチラから

<https://noumidousoukai.gr.jp/bunka/1473/>



## 【塚田さん優勝コメント】

文化の日にサンコーカントリークラブで行われた同窓会ゴルフ大会は、絶好のゴルフ日和に恵まれ、気持ちよくプレーすることができました。また、懐かしい皆様ともお会いでき、楽しい一日を過ごせました。そして女子の部で優勝でき二重の喜びとなりました。幹事の皆様、参加の皆様、本当にありがとうございました。

## 【49期の橋爪さん・岩丸さん・岡部さんのコメント】

このコンペで久々に会う友人もいて、楽しくゴルフができました。来年以降、若い世代も誘って更に盛り上げていきたいと思います! ありがとうございました。

## 群馬県下高校OB対抗ゴルフ選手権大会で 団体優勝

第46回群馬県下高校OB対抗ゴルフ選手権(上毛新聞社主催)で、29校173人が参加し、団体は農大二高が合計スコア384で、4年ぶり7度目の優勝を果たしました。メンバーは、関徹也(19)・持田哲哉(21)・若岡良樹(21)・木村正伸(23)・貫井紀之(26)・原沢悦典(26)・椎名健介(27)・寺本欣真(51)。連覇を狙う為、沢山の農大二高OBの参加を募集しています。



## 在校生への育英奨学金について

同窓会では在校生への育英奨学金制度を設けています。人物・学業に優れた農大二高生であって、経済的理由等により就学が困難である者に対し、学資の支援を行ふとともに、社会に有為な人材を育成することを目的として育英奨学金を支給しています。

奨学金は月額2万円で、返済の義務はありません。選考は校長を委員長とする校内選考委員会で行い、提出された書類の記載事項をもとに、援助にふさわしい人物であるか審査します。委員長からの答申に基づき同窓会が奨学生を決定します。

奨学金は、同窓会費・育英基金ゴルフ大会・有志同窓生からいただいた寄付金等が基金となっています。

【令和6年度の育英奨学基金への寄付】 282,000円

13期会より 同窓会へ353,096円の寄付をいただきました。  
多額のご寄付に感謝申し上げます。

同じ場所、同じ時を過ごした仲間が集う

# 「あれから30年…」

31期生  
(1995年卒)



インタビュー:皆さんがあなたが農大二高に在学中だった頃の思い出を聞かせて下さい。

後藤:僕たちが農大二高に在学中の頃を振り返ってみると、今からちょうど30年前になります。当時の日本は、初めて消費税5%が誕生したり、阪神大震災が発生したり、景気低迷で就職難など、本当に激動の時代でした。

神田:そのような時代の中で、高校時代の3年間は本当に思い出に残ることばかりでした。当時は野球部、ラグビー部、そして陸上部が「三冠」を達成した黄金期。陸上部が京都駅伝出場、野球部が夏に第76回全国高校野球選手権大会出場4回目を果たし、ラグビー部は第73回全国高校ラグビーフットボール選手権大会で準優勝と、在学中の私たちにとって、農大二高生だからこそ経験できた特別な思い出です。

相京:ほんと懐かしいですね。特に夏の甲子園出場は、高校3年の夏だったこともあり本当に印象深かったです。敷島球場へ決勝戦を見に行って、優勝が決まった時、私たちの目の前で、野球部のみんながグランドへ駆け上がって、泣きながら抱き合う姿は本当に感動しました。その後、同級生たちと兵庫の甲子園球場へ大型バスに乗って応援に行けたことは、人生の中で大事な思い出になっています。私たちを甲子園に連れて行ってくれて本当に感謝です。他の高校では決して味わえないことでした。

後藤:甲子園の第一試合に勝ち、次の第二試合まで日数がそんなになかったので、応援する生徒や先生たちも連泊しました。夜は同級生たちと宿で楽しい時間を過ごしたと聞きました。

インタビュー:皆さんがあなたが入学された時に制服が新しくなったとお聞きしましたが。

柴山:はい、今の農大二高の制服は、僕たちの

時代のデザインと少し変わっているとお聞きしましたが、僕たちが入学する時も、男女新制服でコシノヒロコさんデザインに変わった節目でした。懐かしいのは運動着の緑色。当時緑色が一番農二らしいって思っていました。今はその運動着ではないそうなので、本当に懐かしいですね。

相京:当時群馬県内の高校の制服が変わる先駆けだったと思います。特に女子の農二の制服はおしゃれで、毎日着ていくのが楽しかったですね。ルーズソックスも流れていた頃でしたから、あのチェックのスカートに白のルーズで毎日通っていました。

後藤:といえば、自分達が在学中に、30周年事業として「而立棟」が設立されました。下駄箱とその上に職員室があって、自習する場としても使っていたので、とても懐かしい思い出です。

インタビュー:当時は1学年何クラスありましたか。

塚越:本当に1学年の生徒数が多かったので、

同級生でも名前がわからないこともあって、大変でした。クラス数もたくさんありました。

神田:全部で16クラス。10組、11組が男女混合クラスで、1組から9組が男子クラス、12組から16組が女子クラスでした。

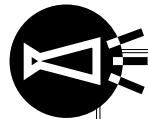
後藤:文系、理系とクラスで分かれていました。また、当時の先生たちは名物先生ぞろいで、当時、私もいろいろ相談してアドバイスをもらいました。

インタビュー:最後に後輩たちにメッセージをお願いします。

相京:私たち31期は学校を卒業して30年ほど経ちましたが、今母校の活躍ぶりをさまざまな場所で耳にするたび、とても嬉しい気持ちになります。昨年度は中等部ができ、高等部も進学校としてさらにレベルアップし、グローバルコースも大人気と聞いています。母校の後輩たちが日本の未来を担う人材の礎を築く場として、3年間の学校生活をのびのび、そして新しいことに挑戦しながら、謳歌して卒業してほしいです。いつも応援しています。



左から塚越さん・柴山さん・神田さん・後藤さん・相京さん



# タテヨコ

## 7期会

会長 小平恒雄

7期生の皆様お待たせしました。5月25日(土)高崎エテルナにて7期会を決行致します。今回を最後にと考えていますので仲良し友達にも声掛けをお忘れなく。

## 11期会

会長 畠元浩 報告 櫻井幹男

2023年9月16日土曜日、6年ぶりに第11期会の同窓会を清水同窓会長、岡先生出席のもとエテルナ高崎にて行いました。出席者は56名と毎回減ってきてますが、3年後に再会できるよう健闘に留意して頑張ろう！



## 26期クラス会3年11組

26期(平成元年度卒)3年11組の初のクラス会を、4月20日に開催いたします。我がクラスは、当時では珍しい男女混合クラスでした。高校生活2年間を共に過ごした仲間との再会、懐かしいひと時を楽しみたいと思います。●連絡先/向田康予 TEL 090-5545-0438

## 27期会

会長 中村克彦

2月11日(日)、高崎グランピューに於いて27期会が開催されました。来賓は清水同窓会長、岡先生、福田先生、猿谷先生の4名。27期はオリンピックイヤーの年に同窓会を開催する事になっています。クラス毎に出席者がステージに上がり、高校時代の思い出や近況などを報告し和やかに会が進行し、楽しい一時となりました。

**【コラム】全ての子ども達が  
社会で生きる力の取得を目指して**

落合哲郎さん(46期)  
NPO法人ぐんま里山学校 理事長



小・中学校での不登校の児童・生徒は29万9,048人(文科省2023年)。不登校になる原因は様々だが、そもそも不登校はダメなのだろうか?私は、学校はあくまで手段であって、その目的は子ども達が将来社会で生きる力を身に付けることだと思う。既存の学校教育が合う子どもは学校で、合わなければ別の場所で学ぶ機会があっても良いのではないだろうか。

私は、現在、主に学校に通えない通わない小中学生40名程度

と日々活動している。「まず精神的に元気になる段階の子」「元気になって、目標ができる学校に戻っていく子」「学校に戻らないことを決意している子」など、様々な子ども達がいる。一人ひとり違うが、どの子ども達も、適切な支援や教育を与えられれば、将来社会で活躍できる人になると考えて日々様々な活動を提供している。

まだまだ課題も多く、また運営はけっして楽ではないが、私たち自身も日々子ども達と学びながら一步ずつ歩んでいきたい。



インドネシアの学校との国際交流事業

# 令和5年度クラブ活動等実績

## 陸上競技部(短距離)

◇群馬県高等学校総合体育大会	※男子総合優勝
男子110mH	優勝 橋本悠
400mH	優勝 橋本悠
400mR	優勝 高橋・小林・原島・小嶋
1600mR	優勝 石井・原島・奥原・関和
100m	3位 小嶋友人
400mH	3位 平井音羽
走幅跳	3位 平井音羽
◇関東高等学校陸上競技大会	※男子総合優勝
男子110mH	優勝 橋本悠
400mH	優勝 橋本悠
1600mR	優勝 関和・原島・関口・奥原
走幅跳	優勝 柳田聖大
走高跳	6位 田口明樹
400mR	6位 勅使川原・原島・奥原・橋本
◇特別国民体育大会	
男子A300mH	3位 橋本悠
◇Jオリンピック大会	
男子110mH	優勝 橋本悠
走幅跳	2位 柳田聖大
◇群馬県陸上選手権大会	
男子1600mR	優勝 関和・原島・関口・奥原

## 陸上競技部(長距離)

◇群馬県高等学校総合体育大会	
男子5000m	優勝 青木丈侑
800m	2位 吉村虎乃輔
5000m	2位 原田望陸
3000mSC	2位 町田陽大
3000mSC	3位 矢嶋大悟
◇関東高等学校陸上競技大会	
男子3000mSC	2位 矢嶋大悟
1500m	3位 德本陽
3000mSC	4位 町田陽大
3000mSC	5位 大竹実吹
5000m	5位 原田望陸
◇群馬県高等学校駅伝大会	
男子	優勝 原田望陸・伊田宇生
	瀬間元輔・徳本陽
	野見山貴圭・矢嶋大悟
	岩瀬俊介
◇関東高等学校駅伝大会	
男子	2位 原田望陸・徳本陽・瀬間元輔
	岩瀬俊介・大竹実吹
	伊田宇生・矢嶋大悟
◇全国高等学校駅伝大会	
男子	12位 青木丈侑
◇U20日本選手権	
男子3000m	3位 青木丈侑
3000mSC	5位 矢嶋大悟
3000m	7位 原田望陸
3000m	8位 徳本陽
◇群馬県陸上選手権大会	
男子1500m	1位 青木丈侑

## ソフトテニス部

◇ハイスクールジャパンカップ群馬県予選	
男子シングルス	3位 間庭賢人・市川悠翔
ダブルス	1位 市川悠翔・間庭賢人
女子ダブルス	2位 大塚梨瑚・山路若奈

## 全日本高等学校ソフトテニス選手権大会群馬県予選

男子個人戦 3位 市川悠翔・間庭賢人  
女子個人戦 3位 関根理央・松井瑞希

## ◇群馬県高等学校総合体育大会

女子団体 2位

## ラグビー部

◇群馬県高等学校総合体育大会	2位
◇全国高等学校ラグビー県予選	3位

## 剣道部

### ◇群馬県高等学校総合体育大会

男子団体 2位  
女子団体 3位

### ◇全国高等学校剣道大会群馬予選

男子団体 1位  
個人 1位 海老子川賢大  
女子団体 3位

◇群馬県高等学校対抗剣道大会

女子団体 2位  
個人 1位 福島愛梨  
男子団体 3位

## 空手道部

### ◇群馬県高等学校総合体育大会

男子団体形 3位  
団体組手 3位  
総合 4位

### ◇全国高等学校空手道群馬県予選

男子団体組手 2位  
団体形 3位  
総合 3位

## 弓道部

◇群馬県高等学校地区大会	
女子個人	5位 黒澤莉菜

## 水泳部

◇群馬県高等学校総合体育大会	
女子200m背泳	2位 大塚くるみ
50m自由形	3位 大塚くるみ
100m背泳	3位 大塚くるみ

## 軟式野球部

### ◇秋季関東地区高等学校軟式野球群馬県予選

1位 群馬県優秀選手 阿部力生

## 吹奏楽部

### ◇群馬県吹奏楽コンクール 高等学校以上Aの部

金賞

### ◇群馬県マーチングコンテスト 高等学校以上Aの部

金賞

### ◇関東カラードコンテスト2023 高等学校の部

金賞

### ◇西関東吹奏楽コンクール 高等学校Aの部

金賞

### ◇マーチングバンド関東大会 大編成

金賞

- ◇全日本マーチングコンテスト 高等学校以上の部  
金賞
- ◇マーチングバンド全国大会 大編成  
金賞
- ◇群馬県アンサンブルコンテスト  
打楽器八重奏 金賞  
フルート三重奏 銀賞  
サクソフォーン六重奏 銀賞

## 競技かるた部

- ◇群馬県高等学校百人一首かるた学校対抗戦  
2位
- ◇関東地区小倉一首かるた大会群馬県予選  
2位 松島桃
- ◇小倉一首競技かるた全国高等学校選手権  
B級 4位 松島桃  
C級 4位 中野文乃  
D級 3位 矢島瑠奈

## 放送部

- ◇NHK杯全国高校放送コンテスト群馬県大会  
朗読部門 最優秀賞 今泉瑠翔
- ◇NHK杯全国放送コンテスト  
朗読部門 入選 今泉瑠翔
- ◇群馬県高等学校放送コンテスト群馬県大会  
朗読部門 奨励賞 阿部桃子

## 写真部

- ◇ふるさとぐんまのフォトコンテスト  
入選 関口琉夏
- ◇群馬県写真展覧会  
会長賞 関口琉夏
- ◇高校写真展  
花畑 入選 鹿島紬希

## 新聞部

- ◇全国高等学校総合文化祭 群馬県高校新聞コンクール  
上毛新聞社長賞

## 美術部

- ◇群馬県高等学校総合文化祭  
美術・工芸部門展 優秀賞 下久保綾華

## JRCボランティア部

- ◇青少年赤十字ボスターコンクール  
入道賞 中嶋咲太朗  
JRC賞 富井達也・鈴木望来  
アンリーデュナン賞 加部愛菜  
学校奨励賞 大木茉央

## 化学部

- ◇東京農業大学併設中学校・高等学校発表会

## 物理部

- ◇東京農業大学併設中学校・高等学校発表会

## 生物部

- ◇東京農業大学併設中学校・高等学校発表会  
◇食と農と環境を考える東京農業大学世界学生サミット  
加部遙陽・関口琉夏・鈴木一郎・宇敷舞  
・高木理奈・小林七緒
- ◇QST高崎サイエンスフェスタ高校生発表  
優秀賞 塚田愛子  
優秀賞 前田健太・田辺充・岡田  
優秀賞 関口琉夏・高木理奈・加部遙陽・  
片貝くらら・軍司尊琉

## その他

- ◇群馬県数学コンテスト  
奨励賞 野沢優
- ◇化学の甲子園ジュニア群馬県大会  
奨励賞 金井大悟・古川由依・萩原香乃  
始動人アイデア賞 土屋なつき
- ◇食と農と環境を考える東京農業大学世界学生サミット  
吉田希羽・久保温姫・木村真菜・久保亜月

## 吹奏楽部 群馬県文化奨励賞を受賞

1月30日(火)に群馬県庁において、令和5年度群馬県文化賞表彰式が行われ、吹奏楽部が全国大会における功績により「文化奨励賞」【芸術(音楽)】を受賞しました。



## 吹奏楽部

10月10日に行われた台湾の国慶節にあたる双十節祝賀イベントに本校の吹奏楽部員148名が招待され、總統府前広場において蔡英文総統をはじめとする多くの要人や台湾の方々が見守る中、式典に花を添えさせていただきました。台湾の方々の歓迎は想像をはるかに越えるものでした。10月6日の深夜に到着した台湾の空港では、何台ものテレビカメラやマスコミの方々に囲まれての入国となりました。10月7日から本番の10日までの期間、高雄市や台北市で7回の演奏を行い、フラッシュモブを含めたすべての演奏に多くの人々が詰めかけ、熱狂的な応援をいただきました。本校吹奏楽部にとって初めての国際舞台であり、また生徒にとって一生忘れられない素晴らしい経験となりました。



※台湾での写真を表紙にも使用しています。

## 令和4年度 決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

### 一般会計

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	37,234	総会費	0
入会金	6,610,000	会議費	122,266
年会費	3,006,730	事業費	3,103,365
預金利息収入	45	事務印刷費	50,854
雑収入	320,000	広報費	393,700
		慶弔費	179,000
		全国大会出場激励費	250,000
		特別会計へ繰出	3,694,824
		クラブ活動基金へ繰出	1,050,000
		育英奨学基金へ繰出	480,000
		予備費	0
		次年度繰越金	650,000
合計	9,974,009	合計	9,974,009

### 特別会計

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	3,694,824	一般会計へ繰出	0
預金利息収入	255	事務費	0
前年度繰越金	16,031,561	次年度繰越金	19,726,640
合計	19,726,640	合計	19,726,640

### クラブ活動基金特別会計

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,050,000	後援会特別活動振興基金へ	1,000,000
預金利息収入	35	事務費	880
前年度繰越金	4,098,801	次年度繰越金	4,147,956
合計	5,148,836	合計	5,148,836

### 育英奨学基金特別会計

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	480,000	奨学金	1,100,000
寄付金収入	325,000	事務費	7,700
預金利息収入	98	次年度繰越金	11,682,138
前年度繰越金	11,984,740		
合計	12,789,838	合計	12,789,838

## 令和5年度 予算書

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

### 一般会計

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	650,000	総会費	1,450,000
入会金	6,550,000	会議費	235,000
年会費	3,060,000	事業費	4,022,400
預金利息収入	45	事務印刷費	50,000
総会費	900,000	広報費	138,000
雑収入	300,000	慶弔費	150,000
		全国大会出場激励費	300,000
		特別会計へ繰出	3,134,645
		クラブ活動基金へ繰出	1,000,000
		育英奨学基金へ繰出	480,000
		予備費	500,000
		次年度繰越金	0
合計	11,460,045	合計	11,460,045

### 特別会計

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	3,134,645	一般会計へ繰出	0
預金利息収入	250	事務費	0
前年度繰越金	19,726,640	次年度繰越金	22,861,535
合計	22,861,535	合計	22,861,535

### クラブ活動基金特別会計

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	後援会特別活動振興基金へ	1,000,000
預金利息収入	35	事務費	770
前年度繰越金	4,147,956	次年度繰越金	4,147,221
合計	5,147,991	合計	5,147,991

### 育英奨学基金特別会計

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	480,000	奨学金	1,200,000
寄付金収入	325,000	事務費	7,700
預金利息収入	100	次年度繰越金	11,279,538
前年度繰越金	11,682,138		
合計	12,487,238	合計	12,487,238

## 事務局だより

### 【重要】年会費納入のご協力をお願いいたします！

本誌の発行事業は多額の費用が掛かります。同窓生のコミュニケーション誌として大きな役割を担っている「ダイコンプレス」の発行継続のために、年会費納入のご協力ををお願いいたします。

### 住所変更の手続きを忘れずに

本誌は、同窓会名簿記載の住所（卒業時の住所）にお届けしています。引越しで住所が変わり、新住所に本誌の送付をご希望される場合は、下記記載の方法（1もしくは2）にて変更手続きを行ってください。

1. 年会費支払時に同振込用紙（赤色）の通信欄に新住所を明記する。
  2. 同窓会公式ホームページの「お問い合わせ」より住所変更を申し込む。
- \*「お問い合わせ内容」欄に**同窓会番号の記入**をお願い致します。

### 年会費集計作業の省力化にご協力お願い申し上げます。

銀行ATMを利用し、年会費を右記銀行口座（②）まで振込みをご希望される場合は振込人名（お名前）の頭に**同窓会番号の入力**をお願い致します。

（例：S010203 ノウダイ ハナコ）

\***同窓会番号**は同封している**年会費振込用紙（赤色）**に記載しております。

### 年会費納入方法

同窓会の運営にご協力ください。

年会費は、同窓会の運営のほか、現役生へのクラブ活動や学業支援に活用されています。

#### ①ゆうちょ銀行

同封の振込用紙でゆうちょ銀行窓口よりお振り込みください。（ATMも利用できます。）

#### ②銀行

下記口座へお振込みください。

\*手数料につきましてはご負担ください。

金融機関 支店名:群馬銀行 高崎支店

科目 口座番号:普通 1493175

口座名義:ノウダイニコウドウソウカイ

年会費：一口 2,000円